



市道の整備と 防犯カメラの設置について

野本 泰生 議員



市道の整備について

質問 本市の1級、2級、その他の市道の認定数と、その延長について伺います。

回答 本市全体の市道は2985路線、延長は893.54kmです。内訳は1級市道が14路線、28.57km、2級市道が38路線、59.47km、その他市道が2933路線、

805.5kmとなっております。

質問 本市の市道の改修や補修などは、どのようにしているのか伺います。

回答 各地区から要望を受け、緊急性、安全性、必要性を検討し、点数化して優先順位をつけ、着手していきます。老朽化が進んでいる

橋梁や幹線道路の補修については、長寿命化修繕計画に基づき実施しています。

質問 整備が止まっている路線があるがなぜか。整備の進捗について伺います。

回答 区画整理事業区域内の道路において、いまだ整備されていない箇所があります。主な原因は対象物件の移転が進まず、道路用地が確保できないためです。

質問 早期のうちに完成してほしいが、事業が進まない理由を伺います。

回答 早期のうちに完成してほしい理由を伺います。

質問 理由は様々ですが、用地取得が一番の原因ではないかと考えています。

回答 理由は様々ですが、用地取得が一番の原因ではないかと考えています。

質問 課題は多いようですが、今後どのように進めていくのか伺います。

回答 道路整備への思いを訴えながら、用地交渉を継続し、財源確保に努め、早期完成を目指します。また、利便性と安全性の向上を図りつつ、本市の都市基盤整備を進めていきたいと考えています。

防犯カメラの設置について

質問 市当局が設置した防犯カメラの状況は。

回答 街頭に24台、公共施設に100台、計124台設置しています。

質問 街頭防犯カメラが十分でないならば、個人が家庭用防犯カメラを設置する際に助成できないか。

回答 調査研究を進め、効果的な設置の推進を図っていききたいと考えています。

質問 犯罪抑止に効果的な家庭用防犯カメラの設置費補助について要望します。



不登校児童生徒への支援と ヤングケアラーの支援について

堀口 きく枝 議員



不登校児童生徒への支援

質問 本市の不登校児童生徒への対策を伺います。

回答 児童生徒の居場所づくりや学校不登校対策会議の開催、館林市不登校対応早期支援プログラムの作成、担任1人の対応ではないチームによる役割分担に基づく支援を行っています。

要望 スクールカウンセラー、ソーシャルワーカー、心の相談室の方々の出勤日数の増加を要望します。

質問 不登校児童生徒の学校以外の受皿を伺います。

回答 適応指導教室、通称ふれあい学級や向井千秋記念子ども科学館のロケットラボ、また、オンラインフ

リースクールをまなびバシリウスに委託しています。

要望 多くの児童生徒が通えるよう、ふれあい学級への交通の便や教室の環境等の改善、教育相談員の増員を要望します。また、居場所づくりとして、空き教室を活用したスペシャルサポートルームの配置とオンラインフリースクールへの補助の拡充を要望します。

質問 本市のヤングケアラーの実態について伺います。

回答 毎月行っている調査では、家庭での悩みや不安を抱えるヤングケアラーの疑いがある児童生徒はおりませんでした。

要望 本人が自覚できていないケースもあります。ヤングケアラーに特化したチャットリストや厚生労働省のアクセスメントシートの活用、また、相談の方法としてチラシにQRコードを入れること、ラインでの相談や1人1台の端末を活用することなどを要望します。

質問 今後、ヤングケアラー支援をどのように強化していくのか伺います。

回答 この問題の認知度を向上するための周知啓発活動が重要です。あわせて教育、福祉に関わる多くの機関との連携強化を図り対応できる体制を構築します。

要望 専門の相談窓口の設置、コーデイネーターの配置を要望します。

質問 今後、ヤングケアラー支援をどのように強化していくのか伺います。

